

保育実践と学問研究

子どもを育てる営みは、何百年、何千年のむかしから連続してなされてきたことであつた。それはおとなと子どもとの間の人間的ふれ合いを中心として、知能も感情も社会性もさまざまな要素をふくんだものであり、人間の子どもの中で人間として発達してきたものであつた。

近年になって、心理学や教育学が児童の研究に眼をむけ、いろいろの側面から科学的な研究が行なわれるようになった。その結果、児童に関する多くの知識が集積され、教育にも役立つところが大きかつた。

しかしまた、逆というならば、児童に関する学問研究は、健全な保育のもとで、健全に発達した児童によつてなされたのであることを認識しなければならぬ。健全で健康な保育がなかつたならば、多くの学問研究は生み出されなかつたであらう。その意味では、保育実践は学問研究から生まれたのではなくて、その逆なのである。

専門化が進みつつある現代、児童のある部分についての研究をもとにして、すべての保育実践を人工的にくみ立てようとするならば、多くの要素を落としてしまうかもしれないことを注意せねばならないであらう。保育実践は人間に関する多くの要素を考慮してはじめて可能になるのである。

こういつたからとて、学問研究の無益を説いているのではない。むしろ逆に、現代においては学問研究による支えがなければ、健全な保育実践が行なわれ難い時代であるともいえる。人間の発達が健全に行なわれるための学問が切望されている時代である。

保育実践は、新しい流行にふりまわされるのではなく、学問研究の成果を自らの手の中にコントロールしながら、人間の営みとしての保育実践をつづけていくことを要する。その素材となりうるような保育研究が不足している。

人間の子どもの発達に真に役立つ保育の実践が不足している。

幼児の教育 第六十九巻 第四号

四月号 © 定価八〇円

昭和四十五年三月二十五日印刷
昭和四十五年四月一日発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

©本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします